

ソフラフィックスキャスト II P

再使用禁止

【警告】

1. 本品を巻く際は層数を必要以上に多くしないこと。[層数が多いほど硬化時の発熱が高くなり、熱傷を起こす恐れがあるため]
2. 完全に硬化するまで無理な力や体重をかけたりしないこと。[本品が変形、破損し、けがをする恐れがあるため]
3. 本品切断時には、必ずマスク等を着用すること。[切断時に生じる繊維粉塵は吸引すると体内に蓄積し、呼吸器疾患を引き起こす可能性があるため]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 30℃以上の水は使用しないこと。
3. 硬化前の本品を素手で触らないこと。また、硬化前の本品が直接肌に触れないようにすること。[樹脂の付着及び皮膚かぶれの恐れがあるため。万一、樹脂が付着した場合は、樹脂が硬化する前にアルコール等の有機溶剤で拭き取ること]

【形状・構造及び原理等】

1. 製品構成

本品はポリエステル繊維ニットにポリウレタン樹脂を含浸させたもので、1ロールずつ防湿包装されている。

2. 材質

ポリウレタン樹脂を含浸させたポリエステル繊維

3. 原理

ポリエステル繊維に含浸させたポリウレタン樹脂が水と反応することで硬化し、患部を固定する剛性と強度を保持する。

【使用目的又は効果】

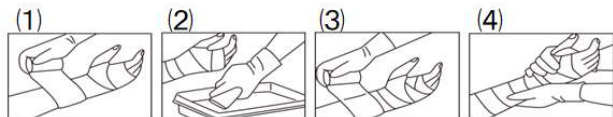
骨折、疾患のある関節又は疼痛のある捻挫を固定するために、硬い被覆保護剤(ギブス包帯)を構成する機器である。

【使用方法等】

《使用方法》

1. 1巻を使用する場合:

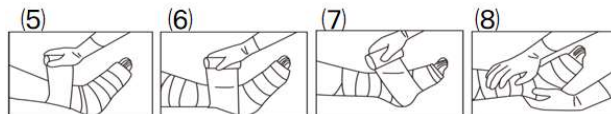
- 1) ゴム手袋をつける。
- 2) チューブ包帯と下巻綿包帯で下巻きを行う。図(1)
- 3) 本品を使用の直前に開封し、水中でもんで水を含ませてから巻く。図(2)
- 4) 本品の幅の 1/2 から 2/3 くらいを重ねながら、転がすように巻く。巻いている途中、または巻き終えてからチューブ包帯を折り返すと、本品の縁が直接肌と接触するのを防ぐことができる。図(3)
- 5) 巻き終わったらゴム手袋を水につけてよくモールドイングする。本品の端は 10 秒くらいしっかりと押さえる。図(4)



2. 2巻以上を使用する場合:

- 1) ゴム手袋をつける。
- 2) チューブ包帯と下巻綿包帯で下巻きを行う。図(5)
- 3) 1巻目の本品を水に浸さず巻く。2巻目からは本品を水に浸してから巻く。図(6)
- 4) 本品の幅の 1/2 から 2/3 くらいを重ねながら、転がすように巻く。巻いている途中、または巻き終えてからチューブ包帯を折り返すと、本品の縁が直接肌と接触するのを防ぐことができる。図(7)
- 5) 巻き終わったらゴム手袋を水につけてよくモールドイングする。本

品の端は 10 秒くらいしっかりと押さえる。図(8)

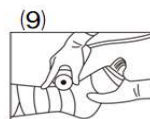


3. セットタイム(本品を巻き終えてモールドイングを行った後、キャストから手を離しても形が維持される程度に硬化するまでの時間)の調整:

- 1) 本品を水中で1~2回もんでから引き上げ、絞り切った後に巻いた場合のセットタイムは約4分である。
- 2) 本品を水中で3回もんだ場合のセットタイムは約3分である。
- 3) セットタイムを長くしたい場合は、水中でもまずに使用する。水中でもまずに2~5秒間浸してから巻いた場合のセットタイムは約4分半である。

4. 除去方法:

本品の除去はギブスカッターで行うこと。図(9)



《使用方法に関連する使用上の注意》

- 1) 使用前に防湿袋の上からロールが柔らかいことを確認し、硬くなっていたら使用しないこと。
- 2) ゴム手袋を着用後、本品を開封すること。
- 3) 患部に腫脹、感染創、潰瘍、発疹等がある患者には慎重に適用すること。また、必要に応じて開窓する等の適切な処置をして、使用すること。
- 4) 21~29℃の水を使用すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意

- 1) 本品の開封前に包装が開いているとき、包装の破損・傷があるときは使用しないこと。
- 2) 本品は使用する直前に包装から取り出すこと。防湿袋を開封した時点からすぐに硬化が開始するので、開封後直ちに使用すること。
- 3) 防湿袋が破損している場合やロールの一部が硬い場合は使用しないこと。
- 4) 樹脂が皮膚や衣類に付着しないように注意すること。必要に応じて、ゴーグルや長袖作業着等の防御具を着用すること。皮膚や器具に付着した場合は、すぐにアルコール等の有機溶剤を使って拭き取ること。
- 5) 本品の除去は、ギブスカッターで行うこと。その際、骨の隆起や過度の発熱に十分注意すること。
- 6) 本品の露出した端の部分で怪我をしないように十分注意すること。

2. 重要な基本的注意

- 1) 本品装着中、及び装着直後は、発熱を伴うので、患者が熱さを訴えた時は直ちに本品を外すこと。
- 2) 本品使用中に、痛み、しびれ等の症状が現れた場合には、直ちに医師に連絡するよう患者を指導すること。
- 3) 本品使用中に、皮膚障害と思われる症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- 4) 本品を長期間装着する場合、発汗等により、皮膚障害が発生する可能性がある。定期的な観察をすると共に、異常を感じた時は、直ちに医師に相談するよう患者を指導すること。
- 5) 本品の過度な締めつけにより、循環障害や神経麻痺が発生する可能性がある。症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- 6) はれや出血のある部位には、ギブスシャーレ等、その症状に応じ

- た処置を行うこと。
- 7) 長期間保管すると、温度・湿度により自然硬化することがあるので、先に購入したものから順次使用すること。
 - 8) 未開封の本品を、乱暴に取扱わないこと。防湿袋に穴があき、空気中の水分が袋内に流入し、本品が硬化して使用できなくなることがある。
 - 9) 樹脂の偏りの原因となるので、長期間、箱を縦積みしたり、防湿袋を立てて保管しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保管する。

2. 有効期間

使用の期限：製品包装に記載〔自己認証（当社データ）による〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

華琳 株式会社

〒130-0025 東京都墨田区千歳 1-9-10 はたち商事ビル

電話番号 03-6666-9179

外国製造業者

Beijing Jinwei Kangda Medical Instrument Ltd. (中華人民共和国)

発売元

株式会社 竹虎

URL [https:// www.taketora-web.com/](https://www.taketora-web.com/)

商品に関するお問い合わせ先電話：0120-094-315